

国際ふれあいフェア 2024

「つなげよう!さいたま市 海外姉妹・友好都市」をテーマに10月13日(日)浦和駅東口駅前市民広場で開催しました。

今年もJR浦和駅主催のポッチャが東口スペースで行われ、ルールが簡単なので、初心者や外国人、障害者の方も参加され、楽しんでいました。IECのボランティアや駅員の盛り上げもあり大人気でした。

例年の国際色豊かなステージと、世界の雑貨・グルメの市民広場では、3連休のためか、たくさんの家族連れでにぎわっていました。

毎年好評のスタンプラリーはじめ、ふれあいコーナーでは、海外姉妹・友好都市ごとの缶バッジ作り、ハンドペイントなどの新企画も人気が高く、埼玉県警察本部のテントでも、白パイに乗りたい子供たちの列がみられました。

猛暑だった夏が終わり、すがすがしい晴天の中、笑顔にあふれるふれあいフェアとなりました。

CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内

会場の様子



エイサー



インドポリウッドダンス



スラブ民族舞踊



ふれあいテント
缶バッジ作り



ポッチャ



フラダンス



ボランティアのみなさん



MY ボランティア STORY



趣味の帽子づくり

今回は、国際交流センター（IEC）で簡易生活相談・多言語生活情報誌「ぶらら」発行などで、幅広く活動されている
ありかわのぶこ
蟻川 誠子さんのお話です。

さいたま市国際交流協会が、浦和区役所から駅前コーナー9階に移転して、多くのボランティアを募集していることを市報で知りました。

35年仕事中心の生活をしてきて、退職時、これからはボランティア活動ができればと考えていました。その時、中学生の頃に夢見ていた世界を見たい、世界中の人と交流してみたいとの夢を思い出しました。また、



ボランティア活動（左：蟻川さん）

仕事とは違う新しい人々との交流を通して、さいたま市在住の外国人の方々の助けができればと思い、ボランティアに応募しました。



スイスでエバさんご夫婦と

簡易生活相談、多言語情報誌「ぶらら」発行は地味な活動ですが、「ぶらら」を見て、簡易生活相談に外国人が来られた時は、活動のやりがいを感じます。

一番の思い出は、国際交流センターを訪ねてくれたスイス人のエバさんです。中学校教員を退職され、さいたま市の養護施設に3カ月間のボランティアにいられていた方です。3カ月の間に2度、我が家で「盆踊り」の練習をしたりしました。その後、パリ旅行をした時、スイス・バーゼルで再会し、旧交を温めたことは良い思い出です。

ボランティア活動に興味・関心がある方は、IECのHPで案内している各種イベントに参加することをお勧めします。各国の人々との楽しく興味深い交流からボランティア活動に参加してください。

2024年日本語ボランティア養成講座 入門編



真剣に議論する受講者▶



◀さいたま市の活動状況の説明

8月27日、9月3日、10日の3日間で開催された、外国人への日本語支援ボランティアの基本を学ぶ講座を受講してきました。浦和パルコ9階の浦和コミュニティーセンターにおいて実施され、39名が参加していました。

はじめに「多文化共生社会への取組」の説明があり、さいたま市の外国人市民数は年々増加し33,000人を超えたにもかかわらず、日本語教室のボランティア数が不足しており、今回の研修を活かしてぜひとも活動に参加してほしいとの呼びかけがありました。

講座初日は、グループに分かれて現役ボランティアの生の声を聴



いて活動の実態に触れた後、「やさしい日本語」、「外国語としての日本語」の講座が行われました。76%の外国人が希望する情報発信言語はやさしい日本語だそうです。2日目は、「異文化理解」、「日本語学習支援」の講座が行われました。演習を通して日本人同士でも違いが浮き彫りになり、受講者は、異なるものを受け入れる異文化理解の重要性を実感していました。最終日は講師の日本語学校から参加した9人の留学生との実践演習です。言葉だけでなくあらゆる手段を駆使してコミュニケーションを図り、難しさと同時に楽しさを感じることができ貴重な体験となりました。

最後のさいたま市内の11の日本語教室との交流会では、活発な質疑応答が交わされ各教室の活動状況の理解が深まるともに、ボランティア活動に積極的に参加したい意欲が高まり、実り多い養成講座となりました。



▲全体の講座風景



▲グループ別演習への取組の様子

はじめての

にほんご こうざ

Japanese Conversation Course for Beginners

さいたま市在住の来日間もない外国人受講者*1対象の「はじめてのにほんご」学習講座を9月26日から12月2日まで9つのテーマを計18回(2時間/回)に分けて行いました。これは文科省の事業*2を活用したIEC*3の取組みです。12回以上受講した人には修了書を発行しました。

毎日の生活のなかで必要な会話を覚える為に、テーマ毎にテキストやスライド映写に加え、多くの実物(消しゴム・傘・挟み・在留カード・缶ジュースなど)が教材として使われました。講師と受講者、受講者同士が“ひらがな”を見ながら会話の練習をするなど、日本人の誰もこうして家庭や学校で勉強していたことを思い起こしました。

受講者の皆さんが「にほんご」を覚えることを通じて、地域社会でより楽しく交流し充実した日常生活を送っていくことを心から期待しています。

*1 南アフリカ、バングラディッシュ、中国、フィリピン、ケニア、コンゴ民主共和国、イエメンからの方々

*2 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

*3 国際交流センター



▲講座風景



▲実物を手に会話のしかたを説明する講師



▲受講者の話に耳を傾ける講師



▲受講者同士で会話



▲修了証書を手にした受講者たち



ボランティア養成講座 (防災編・全2回)

この講座は、国籍に関係なく、外国人にわかる「やさしい日本語」*の基本を学び、災害時に外国人支援ができるボランティアを養成するものです。

第1回目(8月24日開催)は、「やさしい日本語」の基本と災害時のコミュニケーションに役立つ、アプリ・サイトの紹介など、災害時の外国人支援に有益な情報や知識を学ぶものでした。特に印象に残ったのは、情報トリアージで、情報をカットすることの重要性・必要性についての説明と具体例の学習でした。つまり、生命・財産の保全を緊急度の視点で、伝えるべき情報を取捨選択する体験でした。

第2回(11月9日開催)は、大災害発生時の外国人被災者の支援(避難所編)を具体的に学ぶ講習でした。最初に講師から配布されたのは、①「避難所の生活ルール」で、約30項目ある「ルール」から、最重要と考えられるベスト3を選び出し、各グループで発表するのが課題でした。

その後、次々に②物資・食品などの配分方針、③ペット関連の注意事項、が配布されました。この①、②、③を情報トリアージし、やさしい日本語で、どのように避難者に知らせるか、などをグループごとに相談し、模造紙に書き出して、発表する実践を体験しました。

受講者からは、「素晴らしい講習会でした。具体例を実践し、身につく内容でした。今後もこのような講習に参加したい」と大好評でした。

*「やさしい日本語」=「伝わる日本語」。正解はなくたくさんある。



第1回目講師 松本義弘氏；
国際多文化研修ラボ代表理事、
自治体国際化協会地域国際化
推進アドバイザー、防災士



第2回目講師 小澤 勇氏；
IEC ボランティア、防災士



第1回目 講座風景



▲▶
お知らせ文
作成の風景



第2回目 全員写真

日本語国際センター交流会

10月31日(木)北浦和の国際交流基金日本語国際センターで交流会を開催しました。

世界各国の中学校、高校、大学、日本語学校等で日本語を教えている現職の外国人教師65名とさいたま市民21名がクイズやディスカッション、「ふるさと」の合唱で交流しました。

国際交流基金は、外務省の独立行政法人として、「日本と世界を文化でつなぐ」を合言葉に、世界各国との間で、国際文化交流事業を行っています。最も力を入れている事業の一つが「海外の日本語教育支援」です。

交流会は、終始参加者の笑顔があふれる、和やかな雰囲気に包まれていました。



クイズ大会の勝者▲

▼参加者全員で歌う「ふるさと」



◀どんな話をしているのでしょうか？



2025年 国際交流センターイベント情報

* 予定は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPでご確認ください。



1月

19日(日)
着物着付け体験会



2月

8日(土)
第23回さいたま市外国人による日本語スピーチ大会



15日(土)
ミニ講座(盆栽)



3月

9日(日)
日本語ボランティア養成講座
(経験者編・浦和)



編集後記

今年のカレンダーも最後の一枚。この一年を思い起こさせるとともに、次の新たな一年の始まりを感じさせています。

ボランティア活動も皆様のご支援、ご協力により、この一年順調に行われてまいりました。

編集後記でお届けしてきました「さいたま市」折句も今年最後。

静かに燦らす
まずは一服
立ち上がり
勢い強く
さあ書くぞ



禁煙が当たり前の昨今で、わかりにくいかもしれませんが、皆さんにも何かする前に勢いをつける習慣がありますか？

少し早いです、今年も大変お世話になりました。

皆様よいお年を。

編集委員一同



公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL <https://stib.jp/international/>

